

令和8年度入学試験問題（総合型選抜Ⅰ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース 教科教育専攻

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書体とし、ていねいに書くこと。

問 題

わが国における不登校の児童生徒数は年々増加し、令和5年度の調査では346,482人で過去最高の人数を更新しました(文部科学省, 2024)。この数は氷山の一角で、保健室登校やオンライン登校なども含めると100万人近いと推察されています。小学校において1,000人あたりの不登校児童数は沖縄県が全国で最も多く、学校教育の喫緊の問題となっています。

不登校の要因や背景について考え、それを踏まえて「誰もが楽しく安心して参加できる未来の学びの場」とはどのようなものか、既存の学校観にとらわれず自由な発想であなたの考えを800字程度で述べなさい。

【出典】

文部科学省(2024), 「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」 (https://www.mext.go.jp/content/20241031-mxt_jidou02-100002753_1_2.pdf, 2025年6月30日閲覧)

令和8年度入学試験問題（総合型選抜Ⅰ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース 教科教育専攻

出題の意図

本小論文は、教育学部学校教育教員養成課程教科教育専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、将来沖縄県の小学校教員になるために必要な適性を備えているかを判断するものである。特に、本小論文では沖縄県の学校教育における課題等について、論述式試験により論理的な思考力、基本的な文章表現力を備えているかを問うものである。